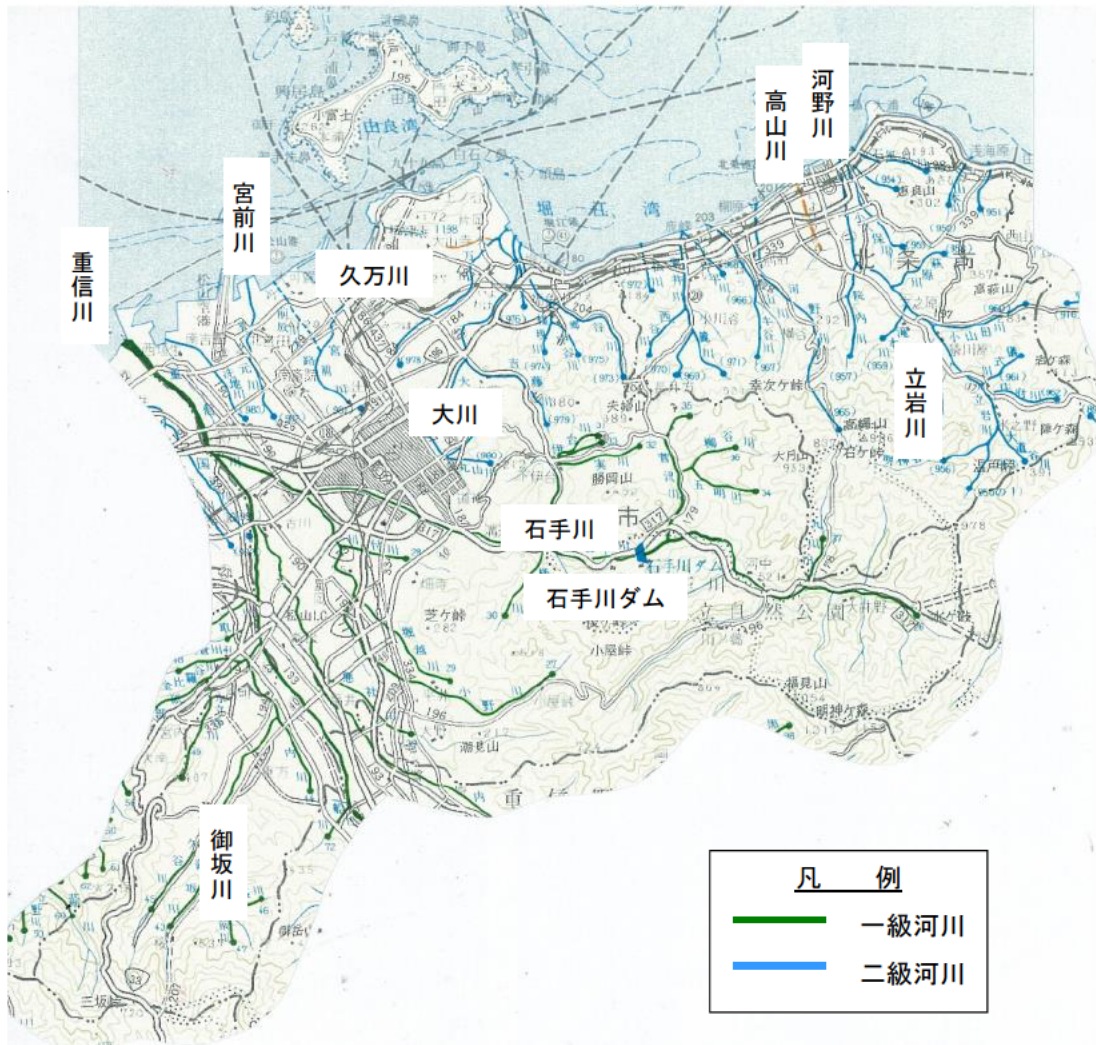


4. 河川の概要

(1) 河川の概要

本市の河川は、道後平野を西流する一級河川重信川水系の重信川、石手川、御坂川等の河川のほか、宮前川、久万川、大川、高山川、河野川、立岩川等の中小河川が西又は北西に流下し、伊予灘に注いでいる。



資料:愛媛県河川図に加筆

図 2-15 河川図

市内には湧水池や小川が点在しており、南高井町の「杖の淵」は環境省の全国名水百選に選定されている。

第2章 生活排水対策推進計画策定地域の概要

(2) 重信川水系河川整備計画

重信川水系については、平成20年8月、国土交通省四国地方整備局が「重信川水系河川整備計画」を策定した。本計画では、重信川水系の河川整備の基本理念等を以下のように整理している。

環境の特徴



資料：国土交通省四国整備局. 重信川水系河川整備計画. 平成20年8月

図2-16 重信川水系流域区分図(環境の特徴)

課題

重信川では、扇状地河川という地形的な特徴と、気象や流域の土地利用、水利用の変化など諸要因から河川流量の減少や地下水位の低下、瀬切れの拡大、水質の悪化などの課題が生じている。

このため、松山地域の限られた水資源を有効に活用するという観点から、河川水、地下水の調査研究や適切な管理は重要であり、関係機関と連携して健全な水循環の構築を目指す必要がある。

また、河川の流水の正常な機能を維持する流量に関しては、生物の生息、生育、繁殖環境の保全や安定した水利用の観点等から河川水の伏没、還元機構の解明などの調査研究を進める必要がある。

石手川ダム貯水池は、松山圏域の重要な水源であること、豊かな自然環境となっていることから、貯水池水質に関する安全性の向上が必要である。

第2章 生活排水対策推進計画策定地域の概要

河川整備の基本理念

○安全で、安心できる重信川の実現

洪水、高潮等さまざまな水害から地域住民の人命と財産を守り、人々が安心して暮らせる地域の実現に向け、各種治水対策を展開し促進するとともに、整備した河川管理施設の機能維持を図り、さらに管理を高度化するための施策を講ずる。また、関係機関や地域住民と連携しながら流域一体となって、渇水被害の少ない安心できる川づくりを目指す。

○重信川を軸とした水と緑のネットワークの形成

河口干潟、霞堤、河畔林、水辺植生や川沿いの泉など、重信川が有する特徴的な環境を守り、育て、連携し、河口から源流へ、重信川から川沿いの地域へと繋がる水と緑のネットワークの形成を図り、河川本来の豊かな自然環境、景観の回復に努め、自然との共生が実感できる川づくりを目指す。

○重信川を媒体とした自然と人、人と人がふれあう交流と学習の場の形成

地域の自然環境、景観や社会環境との調和を図るとともに、重信川の持つ河川空間の独自性を発揮して、レクリエーション活動や自然体験活動、環境学習等の場としての機能を高め、多様な水辺環境を創出することによって、人々が憩い、楽しめ、学べる川づくりを目指す。

水質に関する整備事業

①流入支川等の水質浄化

市街地を流下し重信川に流入する支川には、生活排水等に起因する汚濁負荷量の削減が進んでいない河川が見られる。こうした支川の影響により重信川本川でも、水質環境基準が満足できていない地点がある。流入支川からの汚濁負荷量の削減を図るために、関連市町の下水道整備の計画との整合に留意しつつ、支川合流部の湿地の形成、水路の多自然化など、水質浄化対策に努める。

②水質に関する意識啓発

重信川の水質悪化の原因として、生活雑排水や河川水質に対する住民の関心の希薄化がある。関係機関と連携を図りつつ、地域や家庭でできる水質浄化への取り組みなどを通じて、水質に関する意識啓発を図る。